



北川 克則 議員  
(令和新風加西)

## 働く姿勢と意識改革



**問** 加西市における業務改善の取組について。

**答** 市民がインターネット上で申請等の手続きができるよう、行政のデジタル化に取り組んでいます。また、市役所内の取組として公文書管理システムを導入し、文書の適切な管理や電子決裁によるスピード化、紙資源の省力化を図っています。その他、職員から業務改善の提案を求めています。毎年約50件あり、すぐに対応するものなど、検討結果を全職員にフィードバックしています。

**問** 職員の意識改革の取組について。

**答** 役職段階に応じた階層別研修や対応マネジメント、説明力向上研修といった人材育成の取組を通じて意識改革に取り組んでいます。

**問** 市長として市職員に望む意識や行動について。

**答** (市長) 初登庁の際の職員への訓示において、職務遂行に当たっての心構えを申し述べました。

まず、市民を第一に考える。高慢になっていないか常に省みる。相手の立場で考える。誰一人取り残さないという意識を持つ。ふるさと納税による豊富な財源で甘さが出ているか常に点検する。大事なことは面倒くさい。誰もしな

い面倒くさいことをすれば残っていく。選択肢がある場合は、安易なほうよりも苦労・苦心するほうを選択するということです。

そのために、職員は市民の声をしっかり聴くこと、また、足を運ぶ労力を惜しまないこと、汗をかくことを避けて通らないことが非常に重要であると思っています。

### 要望・提案

- ・市民に寄り添った対応を。
- ・職員の意識改革やモチベーションアップに、クレド (Credo) という手法を参考にしては。

クレド…職員全体が心がける信条や行動指針のこと。目的や意義を共有し、モチベーションアップにつなげる仕組み。

### ■その他の質問項目

- ・令和5年度加西市長・市議会議員議選について



下江 一将 議員  
(清流会・かさいを育む会)

## 農業の活性化に向けた具体的な施策はあるのか



**問** 加西市の農業に対する高橋市長の評価は。

**答** (市長) 加西市の農業は非常に頑張っており、特に野菜、花卉、果樹の経営について顕著だと思っています。大半を占める水稲は厳しい状況ですが、近隣市町に比べ、また全国的にも集落営農という形で頑張っています。

しかし、担い手不足となっており、スマート化等による省力化で担い手不足、後継者不足に対応できるよう考える必要がありますが、簡単ではありません。国策によるところが大きいと思います。

加西市だけでできることは限られていますが、その中でもできる限り対応していきたいと考えます。

**問** 担い手・後継者不足の根本的な問題が解決されなければ農業の活性化につながらない。この問題に対する市長の認識は。

**答** (市長) 農業は労力の割にもうからない、しんどいというのは既成の事実です。その中で肥料高騰や米価の低下、機械の高騰など環境が悪化しています。抜本的な解決は難しいですが、スマート化等で支援していきたいと考えます。

**問** 所信表明では「市内に多くある農業関連施設との連携を一層密にすることにより、担い手の育成・確保、新規就農者の受入れを促進する。」と説明があった。市長の具体的な考えについて。

**答** (市長) 所信表明で申し述べた内容の実現に向け、個々の施設と様々な協議を重ね、多くの方策を見つけていきたいと考えています。

**問** 播磨農高や神戸大学農学部など、農業の担い手になり得る方は多いのではないかと卒業後に加西市で就農することができるよう、学校とつながりを強めていくことはできないのか。

**答** (市長) 貴重な提案の一つだと考えています。今後も様々な提案について検討し、前向きに取り入れていく方針です。

### ■その他の質問項目

- ・若い世代について
- ・総合運動場・総合体育館について
- ・デジタル化の促進